

第2部 基本構想

第1章 むらづくりの将来方向

第2章 施策の大綱

第1章 むらづくりの将来方向

1 基本理念

本村では、村民であることに誇りをもち自然に感謝し教養を高め、生きがいのある住みよい村とするための村民の行動規範として村民憲章を平成6年11月12日に制定し、村民が総力をあげてむらづくりに取り組んできました。この村民憲章は、村民のむらづくりへの想いが集約された、活力ある地域社会を支える象徴的なものであり、これからの球磨村のむらづくりにおける普遍的な考え方であることから、将来においても引き継いでいくべきものです。

第6次球磨村総合計画では、これまで築いてきた村民憲章へ込めた想いを継承して、基本理念として位置づけ、新しいむらづくりの価値創造を目指していくこととします。

生きがいのある住みよい村

自然を愛し 美しい村をつくります

健康に努め 明るい村をつくります

人に優しく ころ豊かな村をつくります

進んで学び 文化のかおる村をつくります

仕事に誇りをもち 伸びゆく村をつくります

2 将来像

球磨村は、平成21年度を初年度として平成30年度を目標年次とする「第5次球磨村総合計画」において、「水と緑と人がきらめく球磨村～自然と文化につつまれて～」を将来像に掲げ、その実現を目指し諸施策に取り組んできました。

しかし、人口減少や少子・高齢化は進行を続けており、さらに防災やエネルギー問題への意識の高まり、村民ニーズの多様化など、自治体を取り巻く情勢は大きく変化しています。また、少子・高齢化による急激な過疎化の進行や共助の機能の低下、農林業の担い手の高齢化や後継者不足など、社会・産業・地域の様々な場面でより深刻な問題が生じて来ることも予測できます。

本村においては、古来より豊かな自然の恩恵を受けて生活を営んできました。村の強みでもある先人達から受け継がれてきたこの貴重な自然の恵みを享受しながら、森林環境や観光資源などを活用した産業の振興と雇用の創出を図りつつ、みんなで協力し、助け合い、子どもから高齢者まですべての村民が健康で、幸せを実感できる村を築き上げることを目指して、また、豊かな自然を次代につないでいけるよう以下の将来像を設定します。

\\ 将来像 //

豊かな心と美しい水と緑が輝く

酸素ちよつと濃いめの

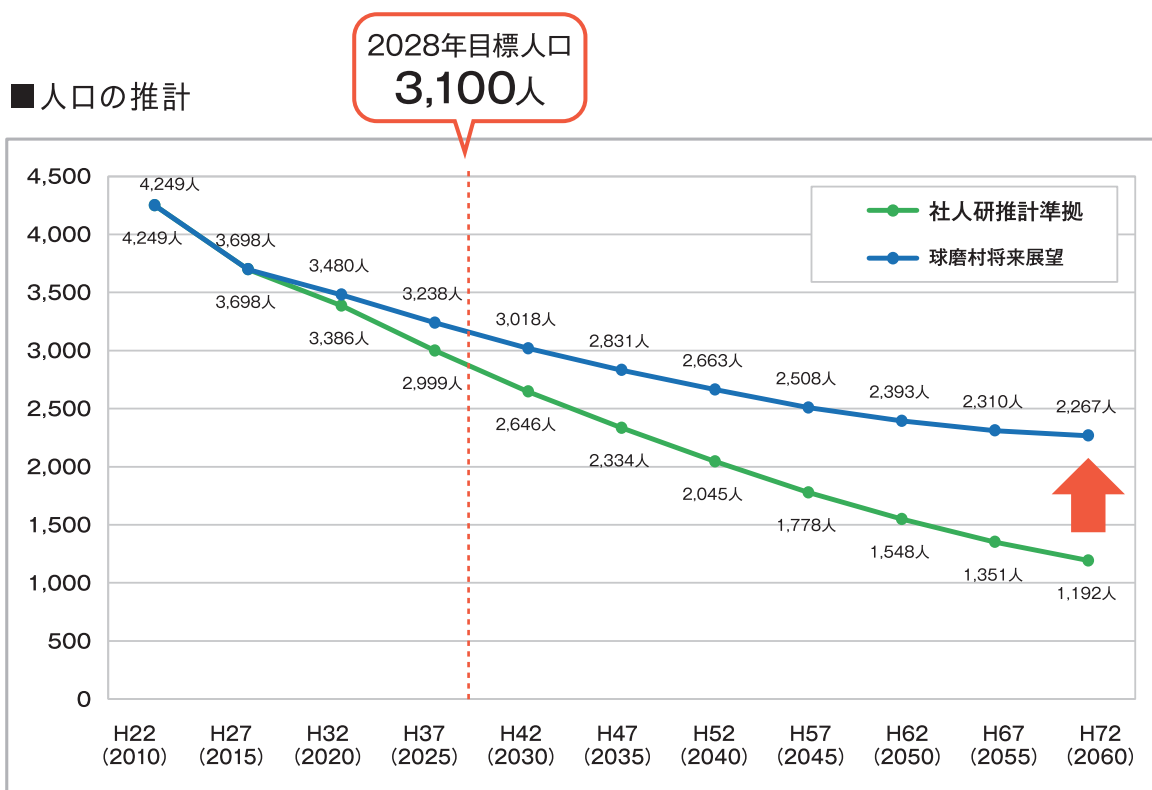
生き活き山村 くまむら



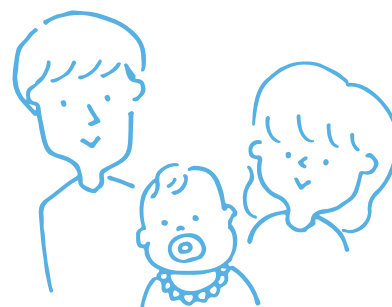
3 目標人口

村では平成27(2015)年10月に「村の人口の将来展望」と「実現するための施策」を定めた「球磨村人口ビジョン」及び「球磨村まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しており、この中で出生率の引き上げと移住定住者を増やす施策を講じ、2060年で2,267人(2015年人口の約60%)を維持する目標を設定しています。

これを踏まえ、第6次総合計画に掲げる将来像を実現すべく基本施策を推進し、10年後に人口3,100人の維持を目指します。



資料:球磨村将来展望及び「日本の地域別将来推計人口」(社人研)に準拠し作成



第2章 施策の大綱

1 むらづくりの基本目標

本村のむらづくりの基本理念を踏まえ、将来像を実現するための政策分野別に5つの基本目標を設定します。

基本目標1 共助のむらづくり《コミュニティ・協働・行財政》

全国的に核家族化や価値観の多様化、地域コミュニティの希薄化・脆弱化により、地域や家族が持っていた共助の機能が低下し、子どもや高齢者の見守り、環境美化などの地域課題に対する解決力の低下など、様々な分野で多くの問題が生じています。このような問題の解決のために、地域の祭りや環境美化などの自立した特色ある活発な地域づくりの活動を支援するとともに、地域の活動拠点の整備を推進し、地域コミュニティの維持向上を目指します。

また、「日本で最も美しい村」の推進活動を図りながら、将来において村民一人ひとりが日本で最も美しい村としての誇りを持ち、生き生きとした活発な地域活動が行われるようなつながりのある地域づくりを展開し、心豊かな村を築いていくことを目指します。

行政改革については、行政改革大綱に沿って、住民福祉の向上につながる行政

改革を推進していきます。また、厳しい財政状況の中で、職員一人ひとりがコスト意識を持つとともに、組織のスリム化と効率的な行政システムの構築を目指します。

財政面では、依存財源が約8割を占めている中で、自主財源となる村税や料金収入などの確保と、それぞれの基金の趣旨に即した有効な運用に努めます。また、ふるさと寄附金については、寄附金事業の運営を強化し、返礼品の開拓・開発や、様々なPRなどに積極的に取り組むことで、全国から継続的に選ばれ支援される自治体を目指します。



基本目標2 農林業の振興と観光資源の活用《経済》

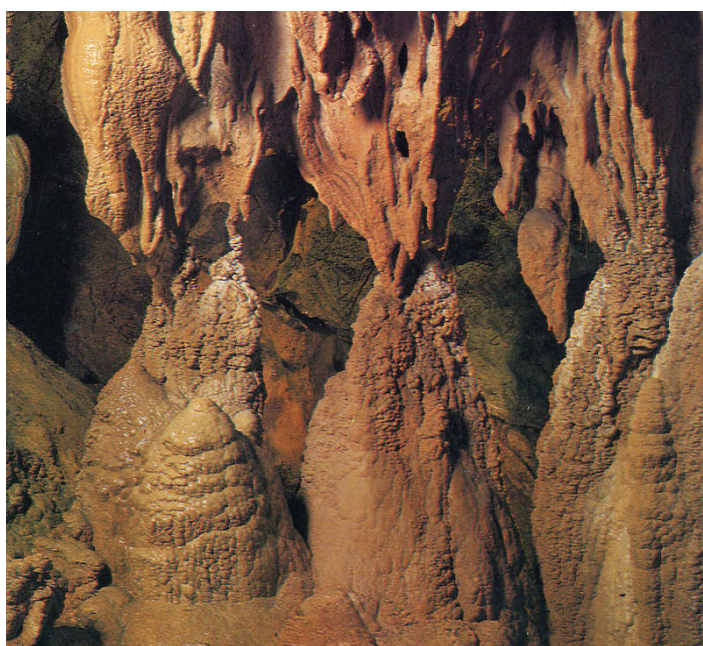
農業が職業として選択されうる魅力とやりがいのあるものとなるように、将来の農業経営の発展目標を明確にし、農家の所得向上を目指した農産物の販路拡大や6次産業化の推進、効果的かつ安定的な農業経営への支援、耕作放棄地の解消及び発生防止、集落を構成する小規模農家への支援を図ります。

また、本村の経済に大きな影響を及ぼす林業においては、森林組合と連携を強化し、担い手の育成、木材販売の促進、木質バイオマスの活用などによる生産拡大及び獣害・災害対策、水源の涵養などの公益機能の充実を図り、的確な森林整備と林業の安定

的な経営のため森林道の計画的な整備を推進します。

本村には、九州最大鍾乳洞の「球泉洞」、日本三大急流の「球磨川」、SLが走る「肥薩線」、日本棚田百選の「棚田」など、貴重な地域資源があります。継続的に環境整備に取り組み、地域資源を最大限に活用した観光客の誘致拡大に努め、地元商業関係者と連携を図りながら観光商業に取り組みます。

また、新たに整備されたレンタルオフィスやチャレンジショップを活用し、新規創業の促進、雇用の創出、移住促進、交流人口の拡大による地域活性化を図っていきます。



基本目標3 安心、安全な暮らしの環境づくり《基盤・安全・環境》

村民の方々が、将来にわたり豊かな暮らしを送るための基盤整備は、定住人口を維持するためにも重要となります。安全な水の供給、ごみや廃棄物の適正な処理に努め、快適な住環境づくりを推進します。また、移住・定住促進を図るため、村営住宅の整備と民間住宅の地震対策、空き家の有効活用を図ります。

交通基盤の整備については、村道や交通安全施設の適正な維持管理に努めるとともに、通院や買い物など、高齢者を中心に貴重な交通手段となっているコミュニティバスや、高齢者や障害のある人などを対象とした福祉有償運送の利便性の向上を図ります。

また、抜本的な治水対策と急傾斜地対策などの生活基盤の整備を推進するとともに、災害に強いむらづくりを目指す「球磨村復興まちづくり計画」に基づき、激甚化する災害などへの対応を強化します。併せて、防災力向上を図るため、自助・共助・公助の考えのもと、消防組織力強化の取り組みと村民一人ひとりの自主防災意識の醸成を図ります。

環境を守り、自然と共生するむらを目指し、自然環境を保全すると同時に、「球磨村地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」に基づいた温室効果ガスの削減に積極的に取り組み、村内の地球温暖化対策を牽引していきます。



基本目標4 健康・長寿のむらづくり《健康・福祉》

子どもから高齢者まで、誰もが住み慣れた地域の中で、お互いが支え合い、健やかに生き生きと暮らすことのできるむらづくりを目指します。

そのためには、生涯を通して心身ともに健康に過ごせるよう、それぞれの年代に応じた健康づくりを進める必要があります。

健康づくり事業においては、村民自らの健康寿命延伸の取り組みを支援するとともに、若い世代から病気の発症予防・重症化予防のための各種検診、個別保健指導、医療機関との連携など、きめ細やかな支援を行い、医療費の抑制を図ります。

また、母子保健事業においては、安心して子どもを産み育てることができるよう、妊娠・出産・子育てへの切れ目のない支援を行い、子どもの健やかな成長を促すための健康管理や育児支援の充実を図り、安心して子育てできる環境づくりを進めます。

地域医療については、球磨村診療所を

核として、村内の保健・福祉施設等との連携を一層強化し、地域医療体制や救急医療体制等の整備・充実を進めます。

介護保険事業については、介護保険の円滑な運営を確保するとともに、高齢者が地域で自立した生活を継続していくことができるよう地域包括ケアシステムの深化・推進を図ります。

高齢者福祉については、高齢者福祉及び介護保険事業計画に基づき生涯現役社会の実現と自立支援、健康づくりの推進、認知症になっても安心して暮らせる体制づくり、安心して暮らせるための医療と介護の連携・充実、地域の実情に応じた多様なサービスの充実に取り組みます。

障害者福祉については、障害のあるなしに関わらず、誰もが地域で安心して生き生きと生活できる環境の整備、活動参加の機会の確保を図っていきます。



基本目標5 子どもはむらの宝《子育て・教育・文化》

子育て世帯では、安心して子どもを産み育てられる環境や、子どもたちが安心して学校生活を送ることができる施設と、子どもたちの可能性を広げる学習環境が強く望まれています。医療費の助成や保育料の軽減などの経済的支援を継続するとともに、多様化する保育ニーズに対応した延長保育をはじめとする保育所で実施する取り組みや、子育て支援センターでの活動などの子育て支援を充実していきます。

学校教育については、子どもたちの生きる力を育む教育の実践のため、確かな学力の育成、健康な体の育成、豊かな心の醸成、信頼される学校づくり、教育環境の充実の5つの重点目標に取り組みます。また、子どもたちが国際化・情報化社会に対応でき、課題を解決するために必要な思考力・判断

力・表現力の育成に努めます。

学校施設については、子どもたちが安心して生活でき、安全に利用できるよう計画的に整備を進めます。

さらに、子どもも保護者も、安心して家庭生活を送ることができる支援体制づくりに努めるとともに、家庭での学習時間や、親子で語り合う時間を増やすなど、家庭環境の改善・充実を図ります。また、コミュニティ・スクールを通して、地域とともにある学校づくりを推進します。

様々な年代・地域の村民が学び、ふれあい、自己実現ができる生涯学習やスポーツの場づくりに努めるとともに、地域固有の歴史・文化を学び、未来へ継承するために文化・芸術活動を推進します。



2 基本構想の体系

基本理念

(球磨村 村民憲章より)

- 一、自然を愛し 美しい村をつくります
- 一、健康に努め 明るい村をつくります
- 一、人に優しく 心豊かな村をつくります
- 一、進んで学び 文化のかおる村をつくります
- 一、仕事に誇りをもち 伸びゆく村をつくります

将来像

豊かな心と美しい水と緑が輝く
酸素ちよつと濃いめの 生き生き山村 くまむら

基本目標 1

共助のむらづくり
(コミュニティ・協働・行財政)

- ① 協働による地域づくり
- ② 男女共同参画の推進
- ③ 効率的な行政運営の推進
- ④ 健全な財政運営の推進

基本目標 2

農林業の振興と
観光資源の活用
(経済)

- ① 農業の振興
- ② 林業の振興
- ③ 商工業・水産業の振興
- ④ 観光の振興

基本目標 3

安心、安全な
暮らしの環境づくり
(基盤・安全・環境)

- ① 居住環境の整備
- ② 交通基盤の整備
- ③ 交通安全対策
- ④ 防災・消防対策
- ⑤ 環境美化の推進
- ⑥ 地球温暖化対策の推進

基本目標 4

健康・長寿の
むらづくり
(健康・福祉)

- ① 健康づくりの推進
- ② 地域医療の充実
- ③ 高齢者にやさしい
むらづくり
- ④ 障害者(児)福祉の充実
- ⑤ 地域福祉の充実

基本目標 5

子どもはむらの宝
(子育て・教育・文化)

- ① 子育て支援の充実
- ② 学校教育の充実
- ③ 生涯学習の振興
- ④ 生涯スポーツの振興
- ⑤ 文化の振興